

認定事例：バイオガス（家畜糞尿・敷料等） 北海道足寄町

- 農家戸数の減少に伴う事業継承により一戸あたりの経営規模が拡大する中、糞尿処理が大きな課題に。また、フリーストール牛舎の普及に伴い糞尿が液状に変化したことで、従来の堆肥化利用の改善が求められていた。
- 足寄町農協が足寄町と連携し、大規模酪農を対象として、家畜糞尿、敷料及び酪農現場の雑排水などのメタン発酵処理に共同利用型で取り組むとともに、得られたバイオ燃料で発電事業を実施。

計画

- 原料供給量：25,680 t/年
(家畜排せつ物、使用済み敷料、農産加工残さ)
- 燃料製造量：621,889 Nm³/年 (バイオガス)
- 発電量：2,556,000 kWh/年
- バイオ液肥製造量：29,039 t/年

効果

- 家畜排せつ物の処理労力の軽減
- 電気と熱の施設内利用
- 嫌気性発酵による家畜排せつ物の悪臭低減
- 液肥の畑地還元による粗飼料の品質向上
- 雇用創出、エネルギー自給率の向上

利用した支援制度

- 固定資産税の減免：1/2に減免（3年間）



流れ

